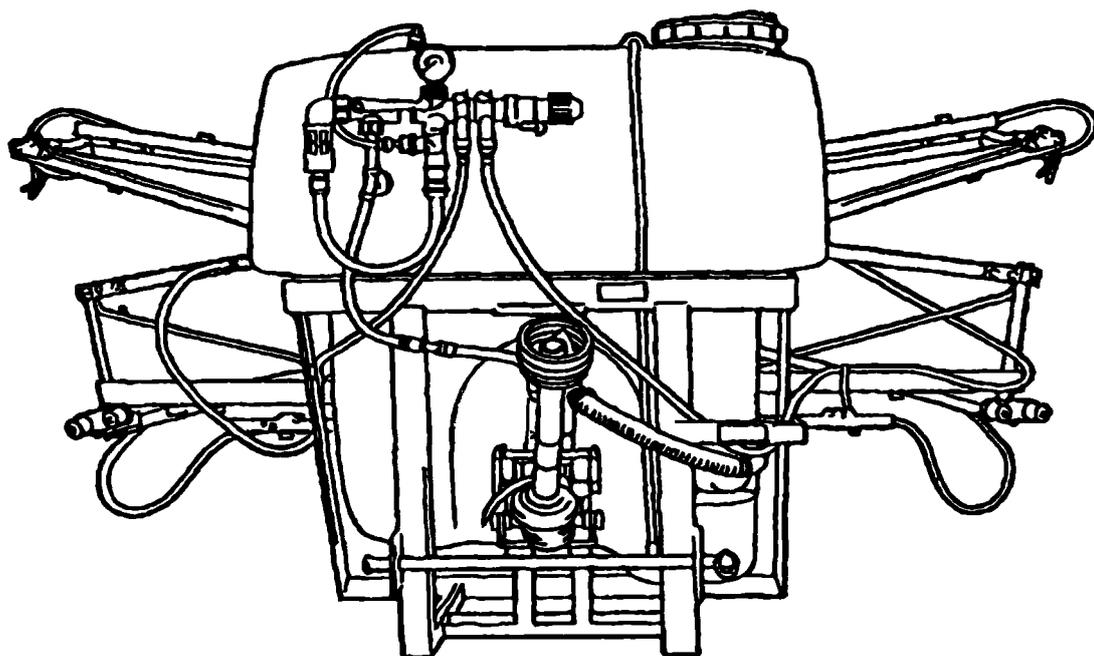


取扱説明書及び部品表

Tecnoma

プレミスプレーヤ

PREMIS 600
PREMIS 800



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **カキ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**スプレーヤ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として、製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

警 告 サ イ ン

 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

- | | |
|---|--|
|  危険 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。 |
|  警告 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
|  注意 | その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。 |

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	16
各部の名称とはたらき	17
トラクタへの装着	18
1. 3点リンケージへの装着のしかた	18
2. ユニバーサルジョイントの取付け	18
運転に必要な装着の取扱い	19
1. ブームの開閉	19
2. ブームの安全装置	19
3. ドレーン開閉レバー	20
4. 給水切換えバルブ	20
5. 分配器	20
6. 圧力調整器	20
7. ポンプ潤滑用オイル	21
8. エアーチャンバー	21、22
作 業 方 法	23
1. 作業方法と要点	23
2. 散布圧力及び作業速度の選択	24
3. 試運転の方法	25
4. 水及び薬液の投入と攪拌	26
5. 作業終了後の洗浄と処置	27
作業前の点検について	28
1. 点検一覧表	28
簡単な手入れと処置	29
1. ポンプのオイル交換及び点検	29
2. 散布作業後の洗浄	29
3. 各部への給油・グリスアップ	30
4. 冬期の凍結防止方法	30
5. 長期格納時の手入れ	31
不 調 診 断	32
オプション部品の取扱い	33
付 表	34
1. 主要諸元	34
2. 主なノズルの型式と部品コード	34
3. 主な消耗部品	34

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解したうえで使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

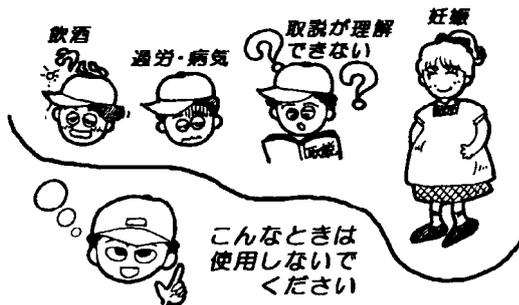
機械を貸すとき、または所有者以外が運転するときは、運転方法を指導し、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

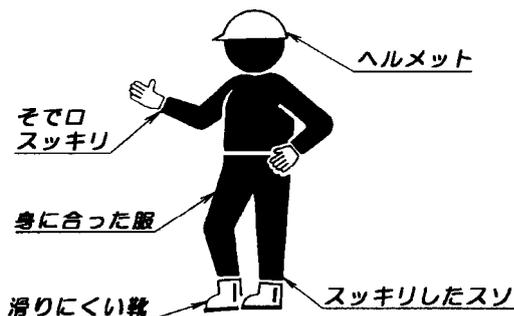
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



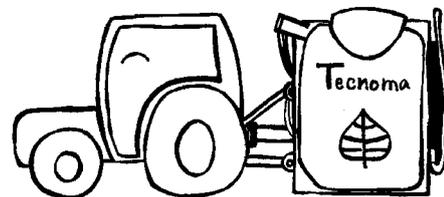
(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適応トラクタ馬力

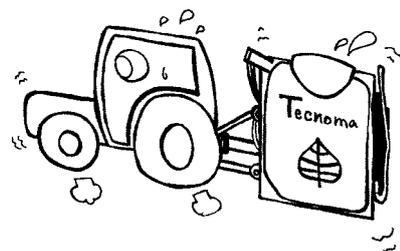
型 式	馬 力(PS)
PREMIS600	50～
PREMIS800	70～

- 3点リンケージ規格：カテゴリ I・II
- PTO回転数：540rpm



(4) 装着時の前後のバランス確認

3点リンケージに装着して持ち上げたときに、総重量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。不足しているときはトラクタ指定のフロントウェイトを取付けて、20%以上を確保してください。できなれば装着しないでください。



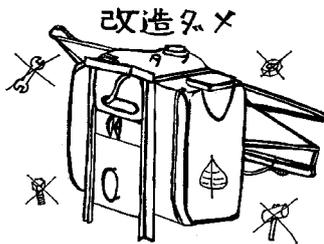
⚠ 安全に作業するために

(5) バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けしないでください。

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けしないでください。
また、改造をしないでください。



(7) 使用目的以外への使用禁止

本機は、防除などのための薬剤の散布を目的とした機械です。
他の目的には使用しないでください。

(8) 機械を他人に貸すとき

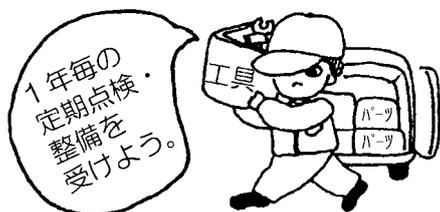
取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。



(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でPTOを切り、トラクタのエンジンを停止して、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには充分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。
エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、充分換気を行ってください。



⚠ 安全に作業するために

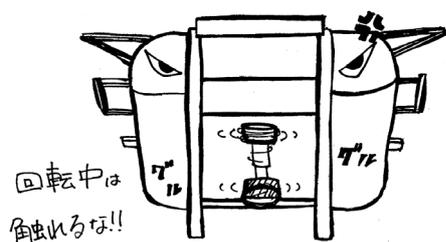
(6) カバーを必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取り外すときは、必ずPTOを切り、エンジンを停止してから行ってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(7) 注油・給油するときは

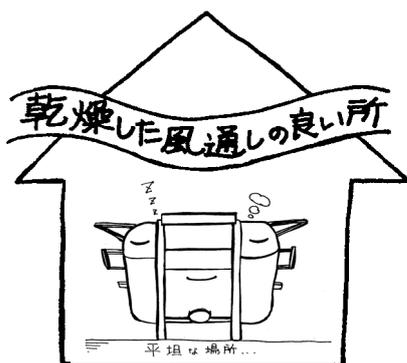
PTOを切り、エンジンを停止して、回転部分が完全に停止してから行ってください。



(8) 長期格納するときは

内部の薬液をきれいに洗い流したあと本取扱説明書に従い、不凍液を入れてください。

次に機械をきれいにし、回転部には充分注油して屋内の平坦な場所に保管してください。



3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

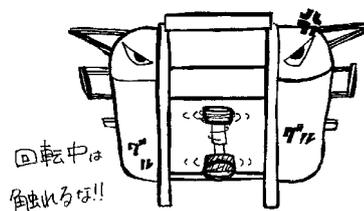
特に子供には充分注意し、近づけないようにしてください。



(2) 住宅や畜舎等の近くで作業するときは風向き等に充分注意し、薬害が発生しないようにしてください。

(3) あやまって薬液を被爆したときは必ず、その薬剤の説明書に従い対応してください。

(4) PTO回転中は危険です
回転部には近寄らない、触れないを守ってください。



(5) 二人以上で作業するときは二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



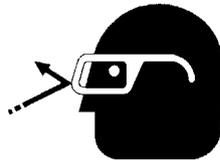
(6) エンジンを始動するときはPTOを切り、変速レバーを中立にして周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



⚠ 安全に作業するために

(7) キャビンなしのトラクタに

装着して作業する場合
薬剤が飛散し、目や呼吸器に入る恐れ
がありますので、必ず保護メガネと保
護マスクを着用して作業してください。



保護メガネ着用
保護マスク着用

(8) 急な発進・停止・旋回・

スピードの出しすぎ禁止

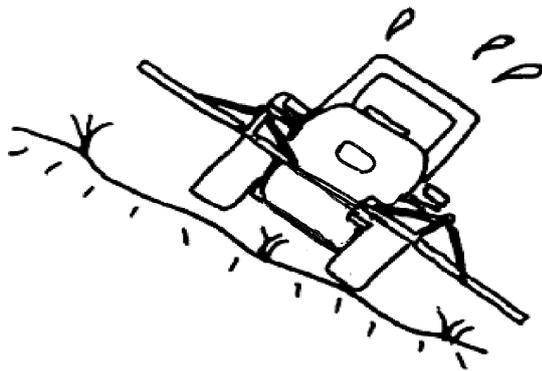
スピードの出しすぎ、急な発進・停止・
旋回は、事故の原因となるだけでなく、
機械の寿命も縮めますので行わないで
ください。

また、起状の多いほ場や傾斜地は、危
険です。作業スピードは極力落として
作業を行ってください。

(9) 傾斜地で作業するときは

次のことを必ず守ってください。

- ① 斜面の等高線に平行、または斜めに走
行すると横転の危険があります。



ず

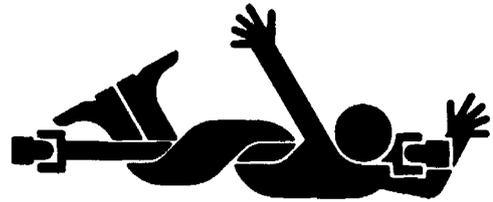
直角方向に走行してください。

- ② 傾斜地で旋回するときは、速度を落と
し、急ハンドルを切らないでください。
高速で旋回すると、転倒する危険があ
ります。

(10) 回転中のユニバーサルジョイント

には触れない

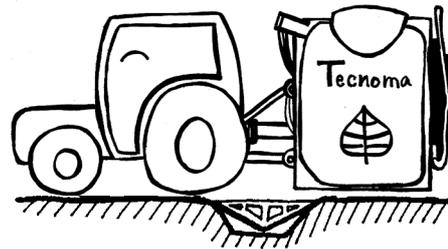
回転しているユニバーサルジョイントに、
手や足で絶対に触れないでください。
巻き込まれ傷害を負うことがあります。



(11) 溝や畦を横断したり

軟弱な所を通るときは
スリップや転倒による事故を防ぐため
に、幅・長さ・強度が充分あるスリッ
プしないアユミ板をかけ、最低速度で
通ってください。

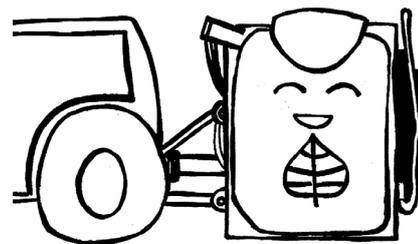
ゆっくりと



(12) 作業途中で運転席より離れるときは

平坦な場所に降ろし、PTOを切り、エ
ンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け
てください。

安心 安心



⚠ 安全に作業するために

(13) ブームを広げての移動禁止

移動するときは、必ずブームを折りたたんでください。守らないと傷害などの事故を引き起こす恐れがあります。



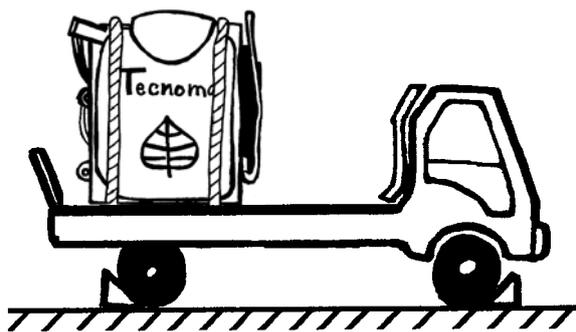
4. 道路走行・輸送をするときは

(1) トラクタに装着しての公道走行禁止

トラクタに本機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。

(2) トラックなどへの積み込み・降ろしは

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを停止し、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。積み込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。



以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

5. 公道走行するときは

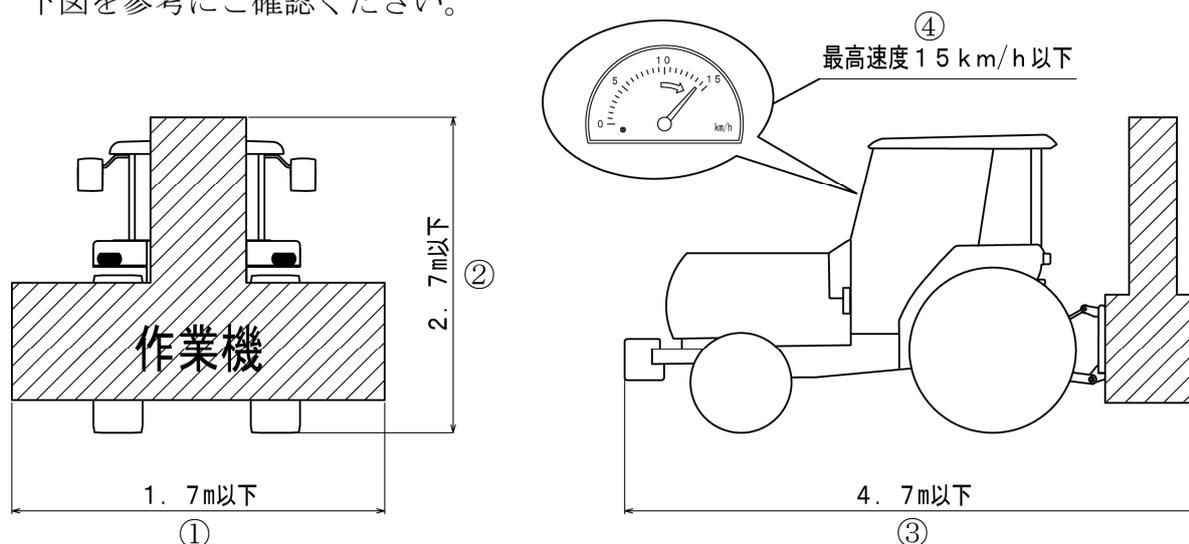
農耕用トラクタに関わる道路運送車両法の運用が見直され、保安基準に緩和措置が設けられました。必要な対応をすることで、直装タイプの作業機で公道を走行することができます。公道走行をする際は、下記項目を確認したうえで必要な対応を行い、法令遵守して走行してください。

(1) 必要な運転免許証について

トラクタ単体の場合、道路運送車両の技術基準(保安基準)の適合性を確保できる農耕トラクタであれば小型特殊免許/普通免許および大型特殊免許(農耕用に限るも、含む)で運行可能ですが、トラクタに作業機を装着した際に①～④の数値をひとつでも上回る場合、大型特殊免許(農耕用に限る、も含む)が必要となります。

- | | |
|----------|-----------------------------|
| ① 全幅1.7m | ② 全高2.0m(安全キャブや安全フレームは2.8m) |
| ③ 全長4.7m | ④ 最高速度15km/h以下 |

下図を参考にご確認ください。



(2) 保安基準への適合性確認

自動車の種類と大きさにより、申請や検査登録が必要になります。

	農業用小型特殊自動車	農業用大型特殊自動車
トラクタに作業機を装着した時の寸法が、全幅2.5m、全長12m、全高3.8mを <u>すべて超えない</u> 場合	公示一括緩和を適用した車両として申請や登録は必要ありません。	全国の運輸支局等で検査登録が必要です。
トラクタに作業機を装着した時の寸法が、全幅2.5m、全長12m、全高3.8mを <u>いずれかを超える</u> 場合	<ul style="list-style-type: none"> 全長12m、全高3.8mのいずれかを超える場合は、地方運輸局長に個別緩和を申請する必要があります。 道路管理者から特殊車両通行許可を得る必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査登録が必要です。 全長12m、全高3.8mのいずれかを超える場合は、地方運輸局長に個別緩和を申請する必要があります。 道路管理者から特殊車両通行許可を得る必要があります。

⚠ 安全に作業するために

(3) 灯火器類・ステッカーの取付け

下記フローチャート①～④を全てそれぞれについてご確認ください、必要に応じて公道走行をするための追加装備を取付けてください。

①作業機最外側からトラクタの灯火器類までの距離

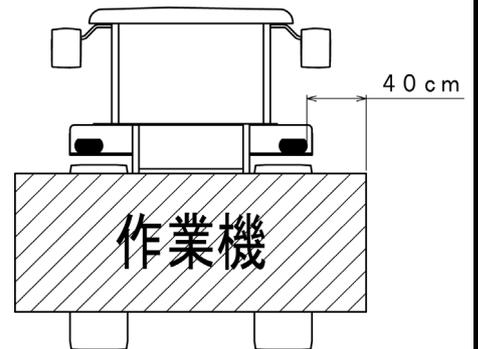
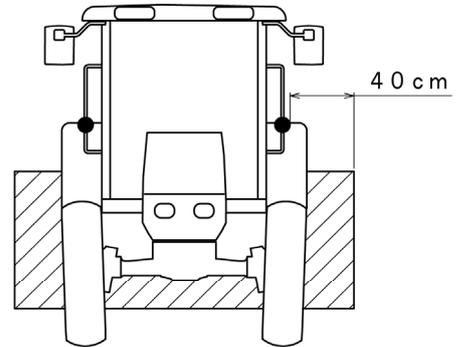
トラクタの後退灯以外の灯火器類の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内にある。

YES

NO

①での追加装備は必要ありません。

前面:A.白色反射器
後面:B.赤色反射器
C.制限標識
を取付ける必要があります。



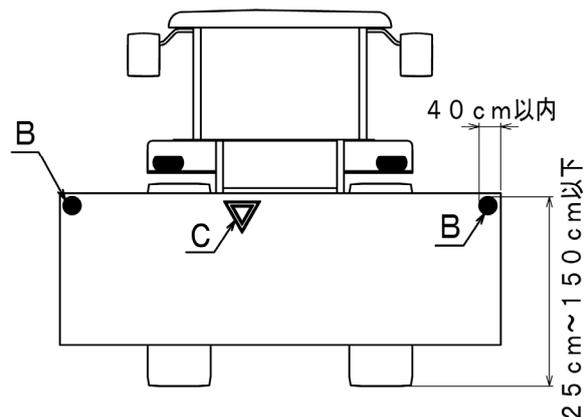
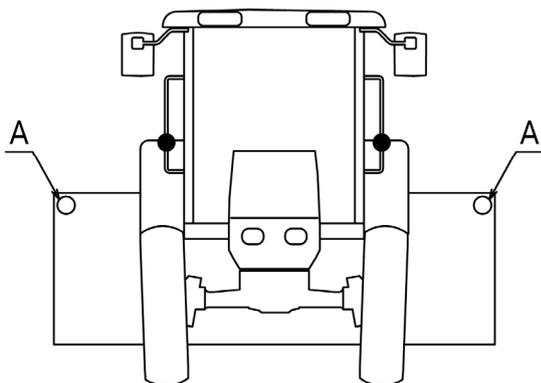
A. 白色反射器	B. 赤色反射器	C. 制限標識

● 装備の取付け位置

道路運送車両法の保安基準により、各種灯火器類取付け位置が定められています。

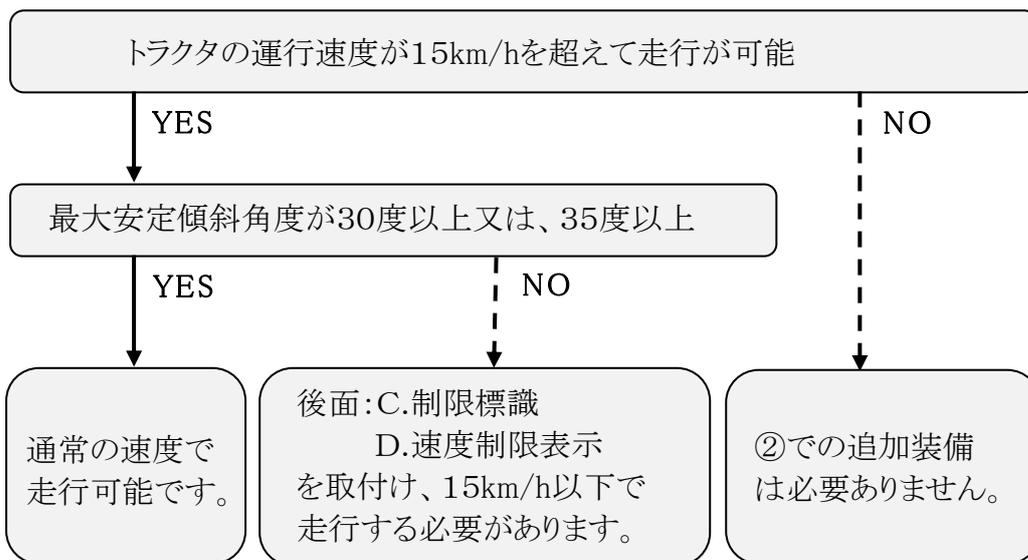
- ・ Aは前面の両側に、可能な限り最外側を取付けてください。
- ・ Bは後面の両側に、作業機の最外側から40cm以内、高さが地上25cm以上150cm以下の場所に可能な限り左右対称になるように取付けてください。
- ・ Cは後方から確認(視認)できる位置を取付けてください。

(取付け例)



⚠ 安全に作業するために

②トラクタの運行速度



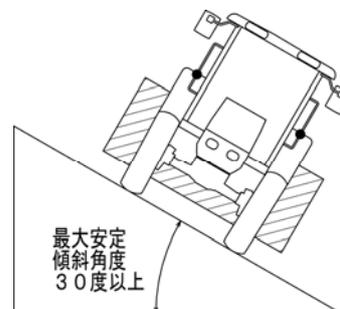
- 運行速度が15km/hに制限されないトラクタと作業機との組み合わせについては日農工のホームページ(<http://www.jfmma.or.jp>)をご覧ください。
- 最大安定傾斜角度が不明な場合は、運行速度15km/h以下で走行してください。

<安定性に関して>

作業機を装着した際に、最大安定傾斜角度が30度以上または、35度以上(車両総重量が車両重量の1.2倍以上または、積載により重心高さが上がるもの)であれば、通常ので速度で道路走行できます。

上記条件を満たさない場合は、

- ・運行速度15km/h以下での道路走行
- ・道路走行をする際に、Cを作業機に表示、Dを作業機・運転席に表示を行う必要があります。

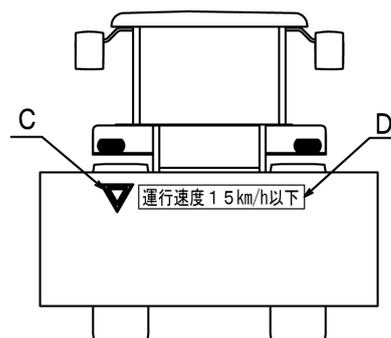


●装備の取付け位置

- ・C、Dは後方から確認(視認)できる位置に取付けてください。
- ・Dは運転席にも表示する必要があります。

(取付け例)

C.制限標識	D.速度制限表示



⚠ 安全に作業するために

③トラクタの灯火器類（後部反射器、コンビネーションランプ（尾灯・制動灯・方向指示器）、後退灯）の視認性

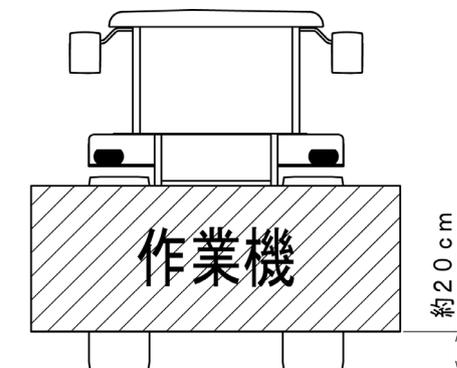
作業機の機体最下部を地面から約20cm上げた状態で後方から確認し、トラクタの灯火器類が視認できる。（※1）

YES

NO

③での追加
装備は必要
ありません。

・後退灯のみ視認できない場合は
可能な限りトラクタ上で移設してください。
・視認できない灯火器類は、作業機
に取付ける必要があります。
※取付けは販売店にご相談ください。



●装備の取付け位置

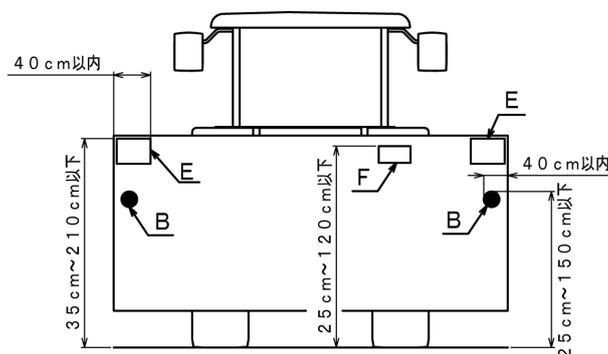
・各種灯火器類の取付け位置は以下のように定められています。

- 後部反射器（リフレクター） 最外側から40cm以内、高さは地上25cm以上150cm以下
- 尾灯（テールランプ） 最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
- 制動灯（ブレーキランプ） 最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
- 方向指示器（ウインカー） 最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上230cm以下
- 後退灯（バックランプ） 高さは可能な限り25cm以上120cm以下

・B、Eは後方から確認（視認）できる位置に、上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。

・Fは後方から確認（視認）できる位置に、上記条件を満たすように取付けてください。

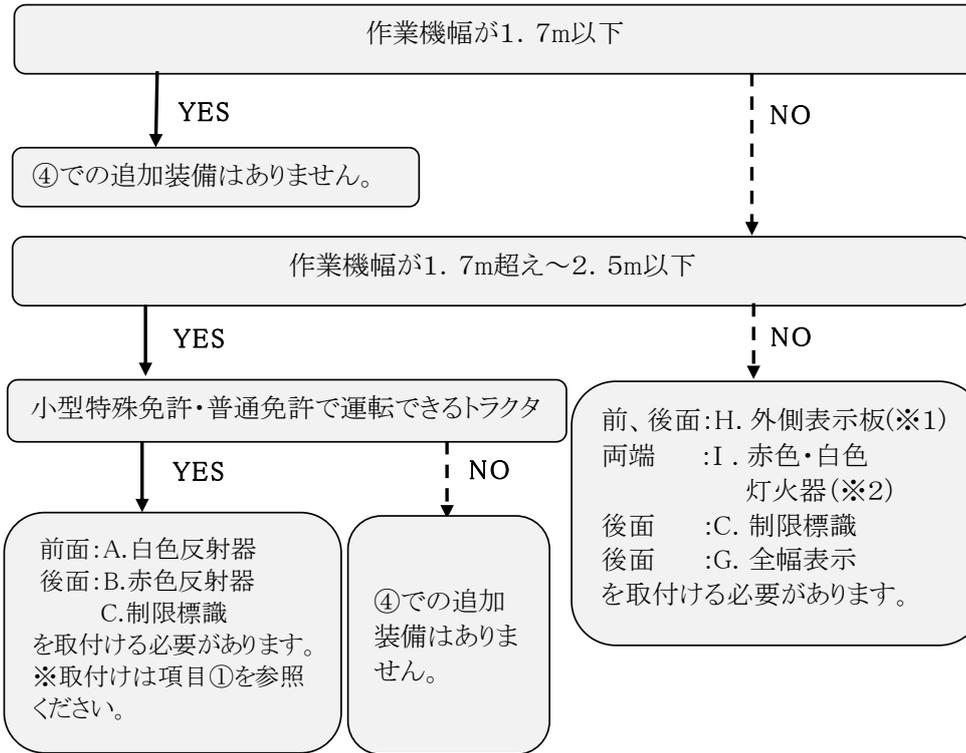
（取付け例）



※1 単体で長さ4.7m以下、全幅1.7m以下、高さ2.0m以下、かつ、最高速度15km/h以下である農耕用トラクタの場合、尾灯・制動灯・後退灯は取付け義務が無い場合、装備されていない場合は確認の必要はありません。

⚠ 安全に作業するために

④作業機装着時の全幅



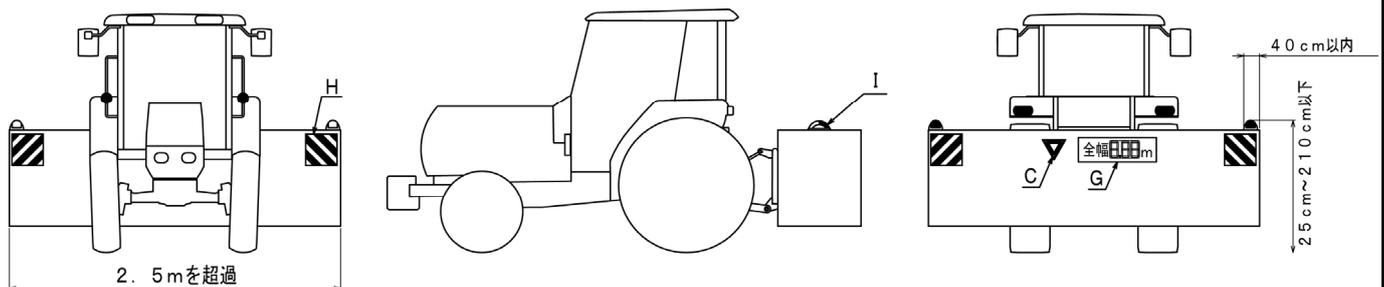
※1 トラクタの灯火器類が作業機の最外側から40cm以上ある場合、
反射器が必要になります。しかし、当社の外側表示板は
反射材を含んでいるため、反射器は取付け不要です。

※2 トラクタの灯火器類が作業機の最外側から40cm以内の場合、取付け不要です。

●装備の取付け位置

- ・ C、Gは確認(視認)できる位置に取付けてください。
- ・ Hは前後、両端に赤白ラインが「ハの字」になるように取付けてください。
- ・ Iは可能な限り最外側に取付けてください。また、前面が白色、後面が赤色になるようにしてください。

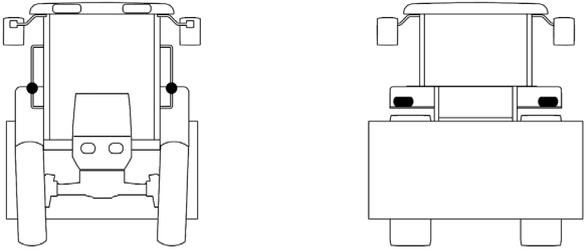
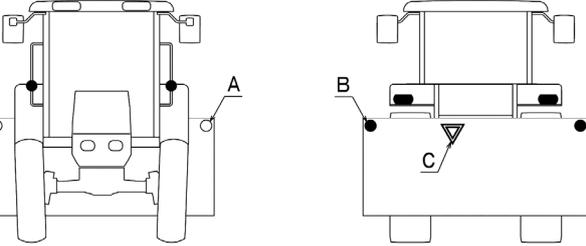
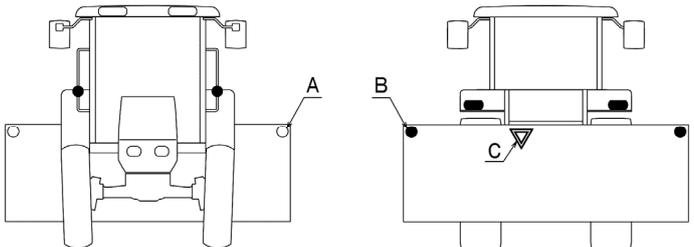
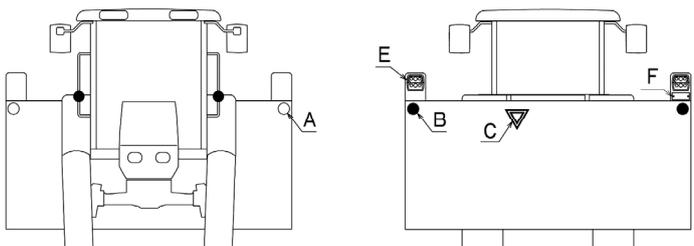
(取付け例)



⚠ 安全に作業するために

灯火器類・ステッカー取付け例

トラクタに作業機装着時の寸法が、全幅2.5m、全高3.8m、全長12m以下の場合

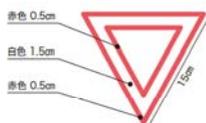
灯火器類の視認性 前照灯 車幅灯 尾灯 後部反射器 制動灯 方向指示器	トラクタの灯火器類が 全て視認できる 場合	灯火器類の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内の場合	(ア) 視認性による取付け部品無し 
		灯火器類の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内、かつ 小型特殊免許・普通免許で走行できるトラクタで幅1.7mを超える作業機を取付ける 場合	(イ) 
		作業機の最外側から40cm以上離れている灯火器がある場合	(ウ) 
	トラクタの灯火器類で 視認できないもの がある場合	(エ) 例：(ウ)に灯火器類を取付け 	

灯火器・ステッカー

A. 白色反射器 B. 赤色反射器



C. 制限標識



D. 速度制限表示

運行速度15km/h以下

E. コンビネーションランプ



F. 後退灯



G. 全幅表示

全幅8.88m

H. 外側表示板



I. 赤色・白色灯火器



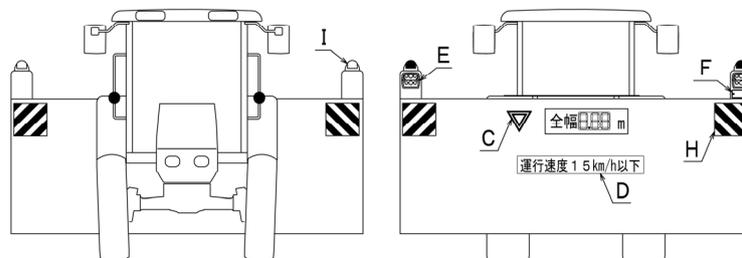
⚠ 安全に作業するために

灯火器類・ステッカー取り付け例

			トラクタに作業機装着時の全幅が2.5mを超過する場合	
灯火器類の 視認性 前照灯 車幅灯 尾灯 後部反射器 制動灯 方向指示器	トラクタの灯火器類が 全て視認できる 場合	灯火器類の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内の場合	(オ)	
		作業機の最外側から40cm以上離れている灯火器がある場合	(カ)	
	トラクタの灯火器類で 視認できないもの がある場合		(キ)	例：(カ)に灯火器類を取付け

※全幅が2.5mを超過する場合は、道路管理者（国道：地方道路局、県道：各都道府県、市道：各市町村）から特殊車両通行許可を得る必要があります。

p.9「②トラクタの運行速度」を確認後、速度制限表示が必要な場合は取付けてください。
例：(キ)に速度制限表示を追加



- 灯火器類取付けの際には、トラクタの操作と連動して点灯することを確認後に公道走行を行ってください。また、灯火器類・ステッカーが汚れたときは視認できるように掃除をしてください。

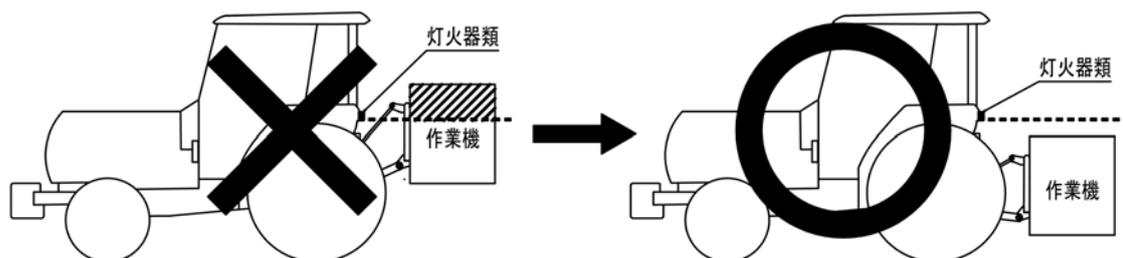
詳細は日農工「公道走行ガイドブック」(<http://www.jfmma.or.jp/kouido.html>)をご覧ください。
その他不明な点は、お買い上げ頂いた販売店へご相談ください。

⚠ 安全に作業するために

(4) 公道走行時の注意点

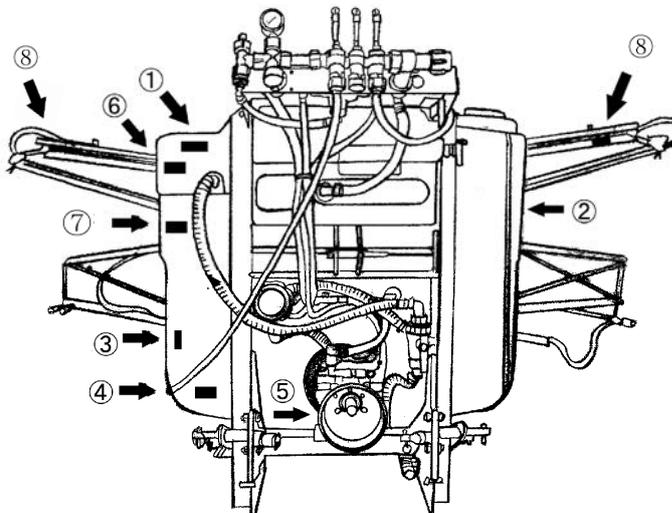
全ての直装作業機は、公道走行時の作業機高さについて下記の注意が必要です。

- トラクタの灯火器類が視認可能であれば、灯火器類を取付ける必要はありません。灯火器類を取付けていない作業機は、下図のようにトラクタの灯火器類が見える位置まで作業機の高さを調整してください。



⚠ 安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付け位置



①部品コード 001204501330

⚠ 注意	
1. 取扱いを誤ると事故や故障の原因となりますので、必ず取扱説明書を熟知するまでも読んでください。	エンジン停止し、駐車ブレーキをかけてください。
2. 全部のラベルが所定部分に貼付けられているようにしてください。	6. 斜面での駐車時は歯止めをしてください。
3. エンジン始動前に機械の周りに入らないことを確認してください。	7. 点検・調整等はエンジンを止めて実施してください。
4. 作業中は人や動物を近づけないでください。	8. 手、足及び衣服を運動部分に近づけないようにしてください。
5. 運転席を離れるときは、必ず	9. 保安基準を満たさない限り公道走行はできません。

②部品コード 001206000620

⚠ 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ●薬剤の取扱いは、必ずその薬剤の説明書に従い、特に安全に十分配慮して作業を行ってください。 ●作業するときは、防護マスク、ゴム手袋、防護服などを必ず着用してください。 ●作業後は手足、顔などを石鹸でよく洗い、うがいをしてください。 ●守らないと身体に重大な傷害を引き起こす恐れがあります。
薬剤に注意	

③部品コード 001206000710

⚠ 注意	
	手袋着用
<ul style="list-style-type: none"> ●サクションフィルターはその日の作業終了後必ず洗浄してください。 ●タンク内に残った洗浄水は、タンク下部のドレン開閉レバーによって抜いてください。 ●これらの部品には薬液が付着しておりますので、ゴム手袋などを必ず着用し、安全には十分注意して作業してください。 	

④部品コード 001206000640

⚠ 警告	
	<p>回転部に接触するとケガをするおそれがありますので下記を厳守して下さい。</p> <p>(1) 接続する時は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行い、また接続は確実にして下さい。</p> <p>(2) ジョイントカバーは必ず付け、チェーンで固定してご使用下さい。</p> <p>(3) 動力伝達中は、ユニバーサルジョイントに近づいたり触れたりしないで下さい。</p> <p>(4) このユニバーサルジョイントは、指定の作業機以外の動力伝達用には使用しないで下さい。</p>

⑤部品コード 001206000810

⚠ 警告	
	<p>巻き込まれてケガをする恐れがあるので回転中は近づかないでください。カバーは、常に装着してください。</p>

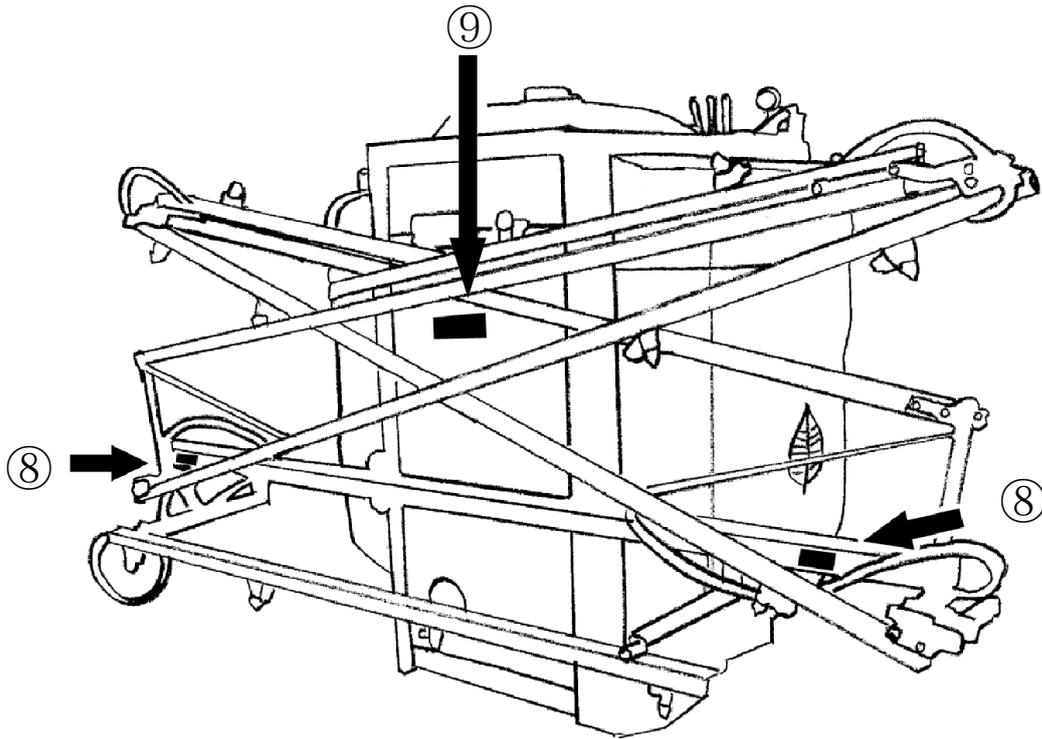
⑥部品コード 001206000230

⚠ 危険	
	<p>転落事故を防ぐためには発進や登坂時にトラクタの前輪が浮き上がらないよう充分な前部ウエイトを装備下さい。</p>

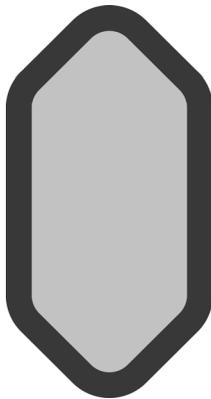
⑦部品コード 001204500640

⚠ 注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・作業機を上昇させる場合は十分に注意してください。 ・作業機がトラクタと接触し、破損するばかりでなく傷害を受ける恐れがあります。 	

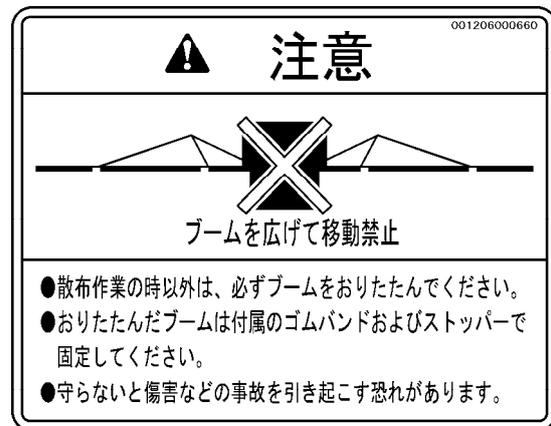
▲ 安全に作業するために



⑧部品コード 001206000530



⑨部品コード 001206000660



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、柔らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

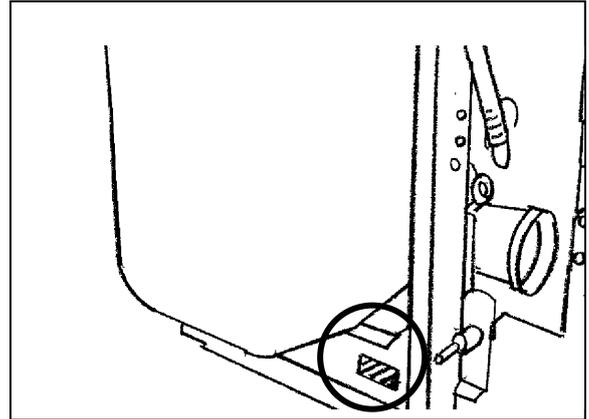
本製品の使用目的について

本製品は、農業用剤の用途、農作物への液体肥料を散布する作業にご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、JA（農協）、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。

(機体銘板貼付け位置図)



【連絡していただきたい内容】

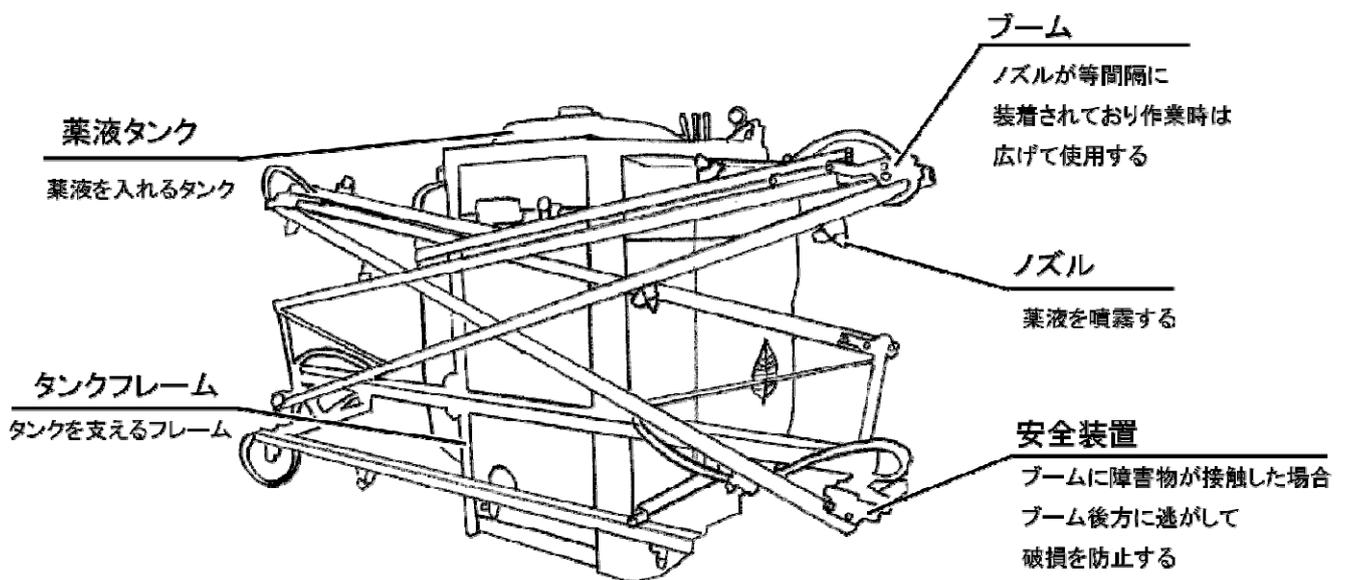
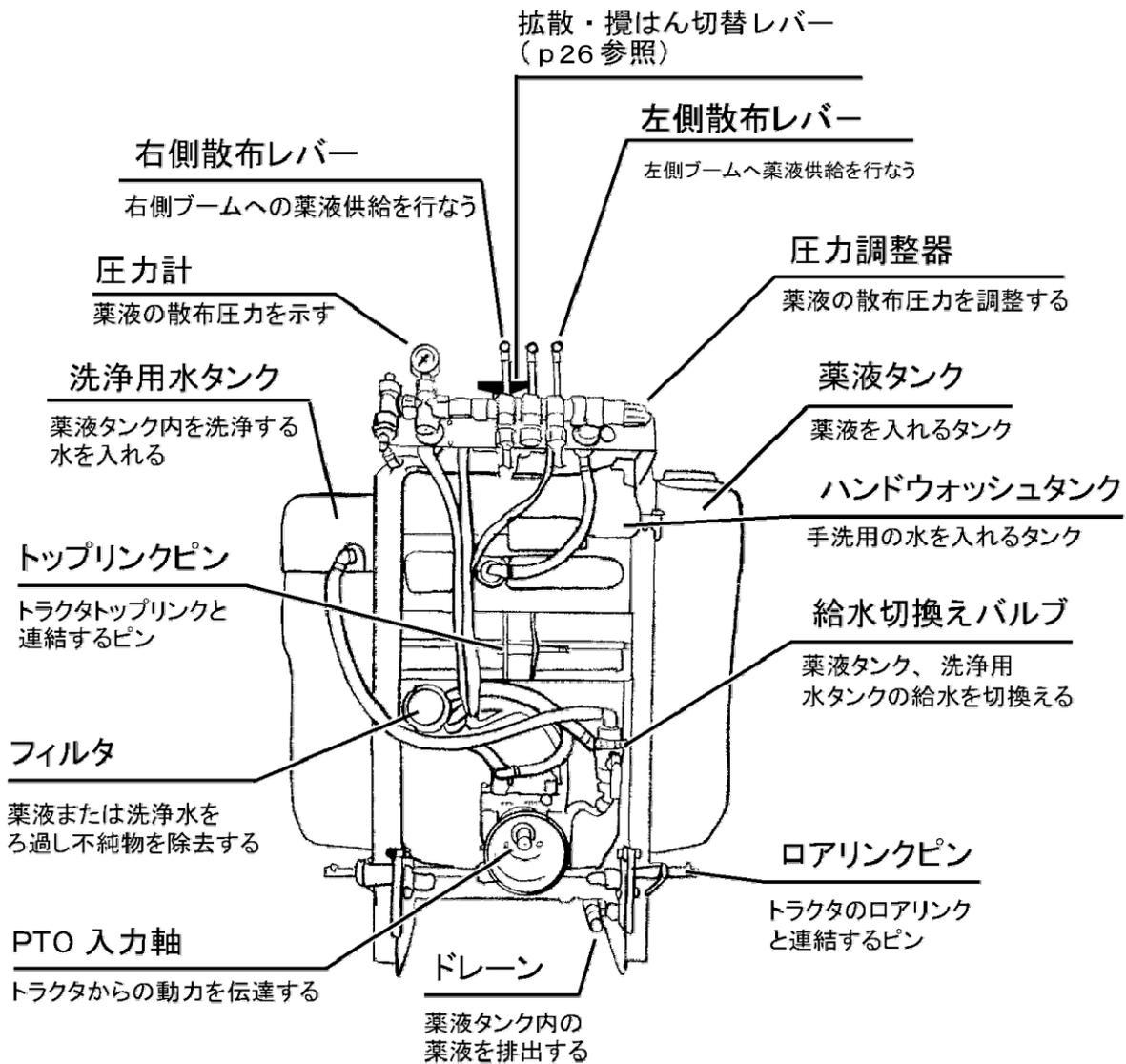
- 品名と型式
- 機体 No. (SER-N o)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品名	スプレーヤ		
型式	PREMIS600・PREMIS800		
機体 No. (SER-N o.)			
購入年月日	年	月	日
販売店名	TEL ()		

各部の名称とはたらき



トラクタへの装着

警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
 - 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに充分注意し、二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
 - ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを停止し、PTOを切ってから確実に取付けてください。
- 以上のことを守らないと傷害発生のおそれがあります。

1. 3点リンケージへの装着のしかた

◆3点リンケージの装着順序

左のローリンク、右のローリンク、トップリンクの順序で取付けてください。

◆トップリンクの長さの調整

トラクタ油圧で本機を吊り上げたとき、薬液タンクが垂直になるように、トップリンクを調整してください。

◆リフティングロッドの調整

本機と地面が後方より見て、ほぼ平行になるようにリフティングロッドで調整してください。

注意

傾きが大きいと、ノズルと作物の距離が機体の左右で変わってしまうため、散布むらを起こすことがあります。

◆チェックチェーンで横振れ調整

運搬および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタの中心と本機の中心が一致するように左右均等に固定してください。

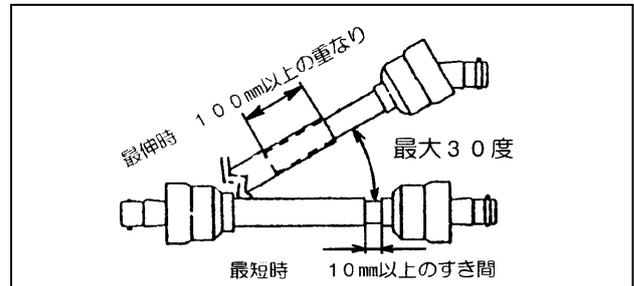
2. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力軸に取付けてから、トラクタPTO軸に確実に取付けてください。

◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは、3点リンケージによる本機の上昇・下降により変化します。先にジョイント長さが長すぎないかを確認し、長すぎるときは下図の寸法が確保できるように切断してください。



注意

- 作業時のジョイント角度は最大30度を超えないように調整してください。30度を超えるとジョイント破損の原因となります。

◆カバー回転止めチェーンで固定を

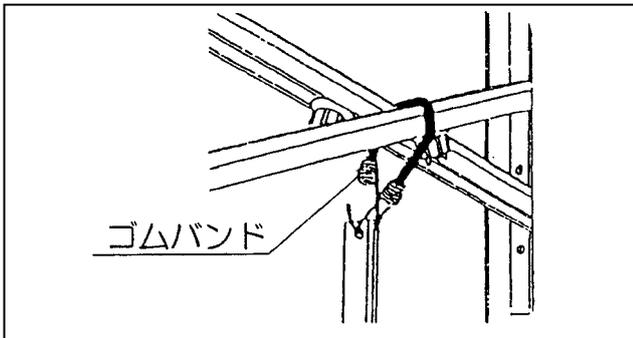
ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

運転に必要な装置の取扱い

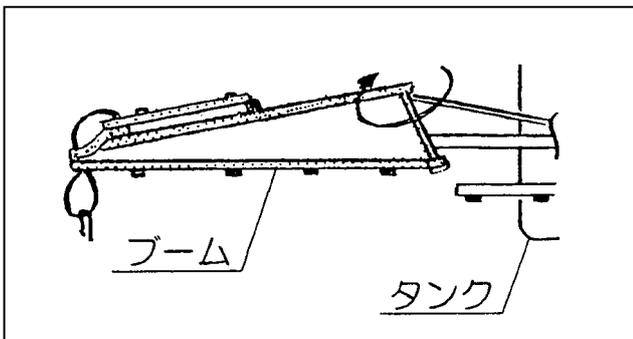
1. ブームの開閉

◆ブームを広げる

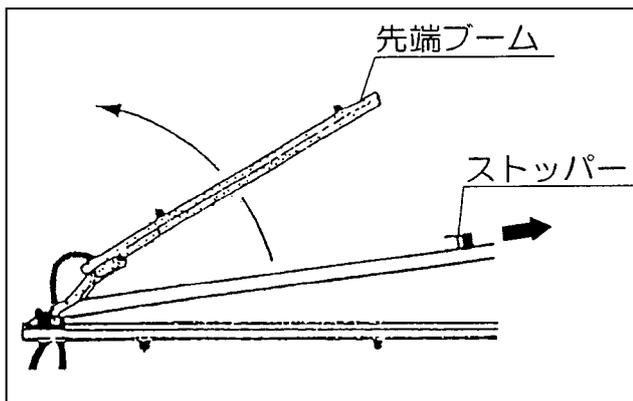
- ①ブームを固定しているゴムバンドを外します。



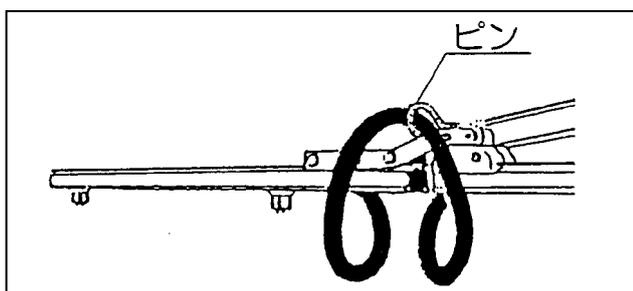
- ②ブームの縦軸を中心にして左右に広げます。



- ③先端ブームのストッパーを外し、外側へ広げます。



- ④ピンを穴に差し込んでホースを固定します。



◆ブームを折りたたむ

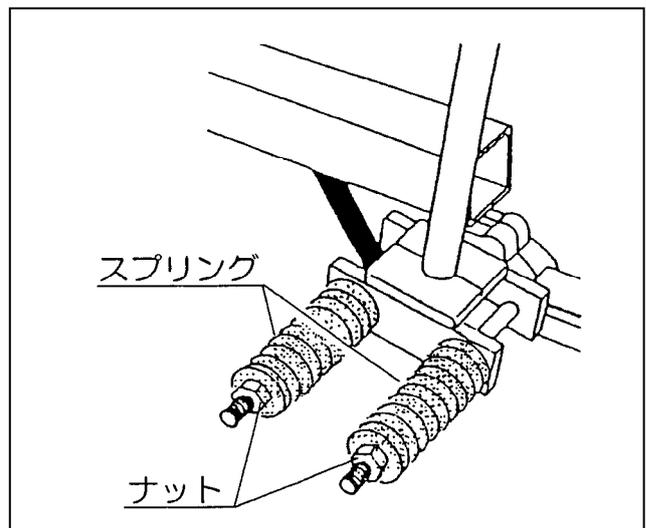
前項と逆の手順で行ってください。

⚠ 注意

- 散布作業のとき以外は、必ずブームを折りたたんでください。
 - 折りたたんだブームはゴムバンドおよびストッパーで固定してください。
- これらを守らないと傷害などの事故を引き起こすおそれがあります。

2. ブームの安全装置

ブームが柵等の障害物に当たった場合、スプリングの働きでブームを後方へ逃がし、破損を防止します。

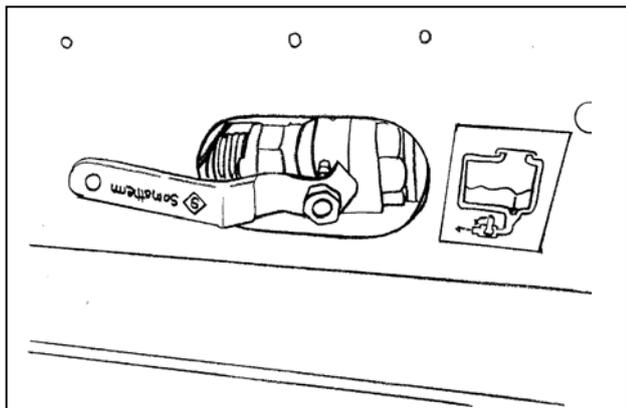


- 作動した場合は、手で元の位置へ戻してください。

運転に必要な装置の取扱い

3. ドレイン開閉レバー

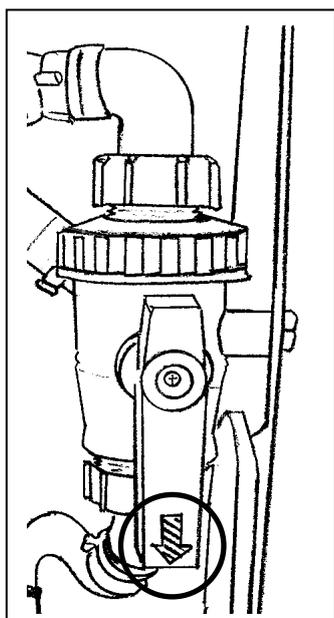
薬液タンク内からドレインへ排出するためのレバーです。



- レバーを横にすると残った薬液が排出されます。
- タンクの左側面の足元に設置されています。
- 握りを横に倒すと弁が開きます。

4. 給水切換えバルブ

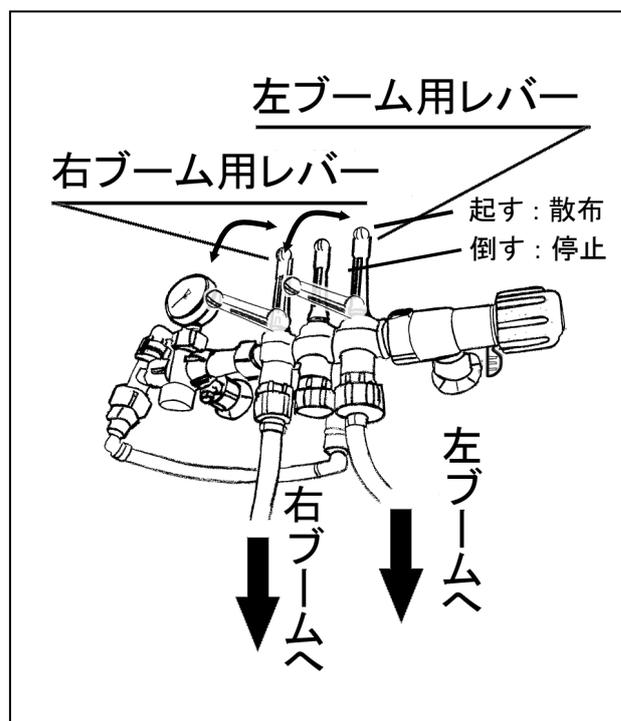
ポンプへ供給される前の段階で、どのタンクの液体を供給するかを切換える部分です。



- レバーの矢印が下を向いた状態の時は、ポンプには薬液タンクの薬液が供給されます。
- レバーの矢印が上を向いた状態の時は、洗浄用水タンクから洗浄用水が供給されます。

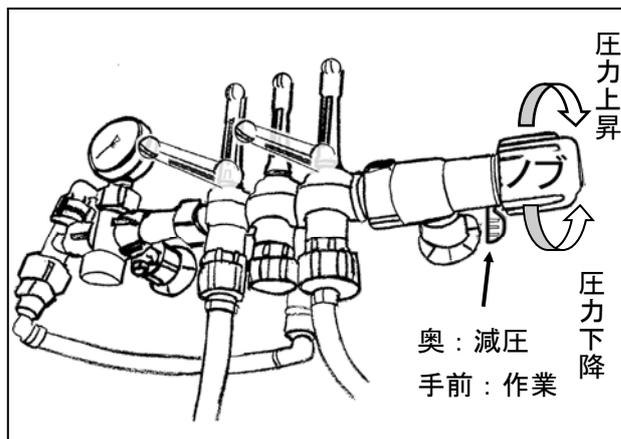
5. 分配器

分配器のレバーにより、左右ブームの散布・停止を個別に切換えることができます。



6. 圧力調整器

散布圧力は、下図の圧力調整器のノブを回すことにより調整します。



- ノブを右に回すと散布圧力が上昇します。
- 散布圧力は、圧力計で読み取ることができます。
- 散布圧力を一気にゼロにする時は、上図レバーを右（減圧方向）に回してください。

運転に必要な装置の取扱い

⚠ 注意

3方バルブや、分配器のレバーを操作するときは、必ず周囲に人や動物のいないことを確認してください。

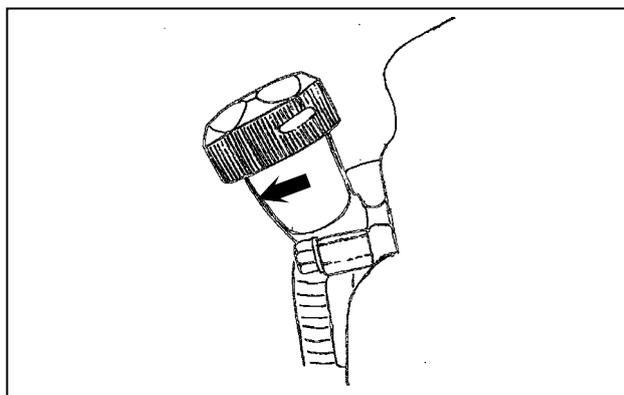
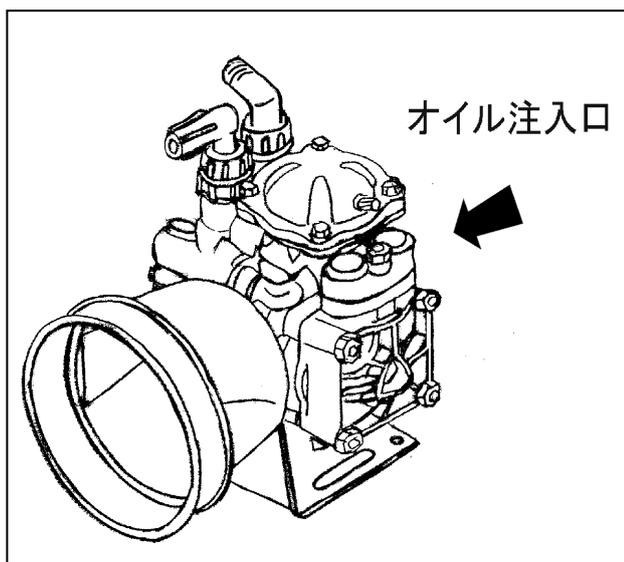
あやまって操作すると、薬液をかぶるおそれがあります。

注意

散布圧力は15bar以上に上げないでください。

7. ポンプ潤滑用オイル

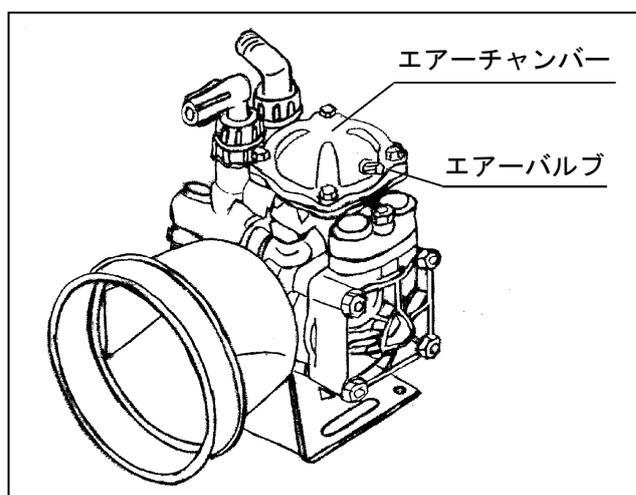
- オイル注油口はPTOスプライン軸の裏側にあります。



- 運転前には、必ずオイルの点検を行ってください。図の矢印の位置までオイルが満たされている状態でポンプを使用してください。オイル交換は最初の注油から50時間、それ以降は500時間毎に行ってください。

8. エアーチャンバー

本機のポンプにはエアーチャンバーを内蔵しております。エアーチャンバーにあらかじめ空気を入れておくことにより、散布量の変動を抑え、必要な流量を一定に保つ働きをします。



この装置を効果的に働かせるためには、エアーチャンバー内の空気圧と薬液の散布圧の比率を一定に保つ必要があります。

平均的には、空気圧を散布圧の

1/3になるように調整します。

(次ページ参照)

空気は前図のバルブから出し入れして調整してください。

⚠ 注意

この作業は、必ずポンプを停止させた状態で行ってください。

運転に必要な装置の取扱い

《散布圧とエアーチャンバーの空気圧の関係》

散布圧力(bar)	空気圧力(kg/cm ²)
2	0.7
3	1
4	1.3
12	3
20	4

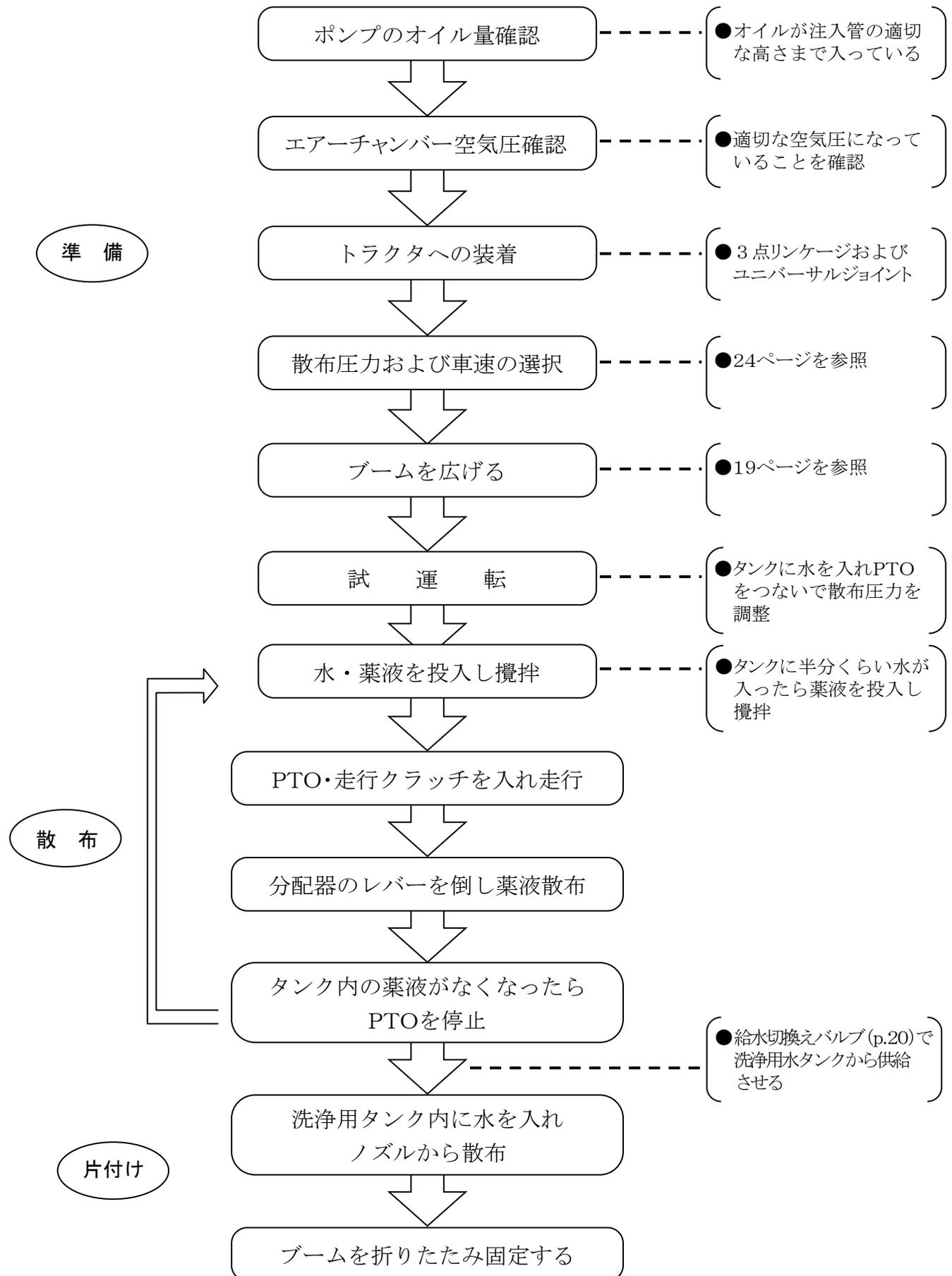
(1bar \doteq 1.02kg/cm²)

注意

エアーチャンバーの空気圧は、工場出荷時は3kg/cm²に設定されています。

作業方法

1. 作業手順と要点

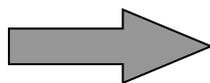


作業方法

2. 散布圧力及び作業速度の選択

1ヘクタール(1町歩)当りの散布量(L/ha)より、ノズル型式別の散布圧力(bar)および作業速度(km/h)を選択します。下表を参考に、作業条件に合わせて選択調整し、作業してください。(選択例は次ページ参照)

ノズル型式	圧力 bar	ノズル 当りの吐出 量 L/min	1ha当りの散布量 L/ha												
			4km/h	5km/h	6km/h	7km/h	8km/h	9km/h	10km/h	11km/h	12km/h	13km/h	14km/h	15km/h	
RFX80-015 (緑色)	1.75	0.44	132	106	88	76	66								
	2	0.48	144	115	96	82	72								
	2.5	0.54	162	130	108	93	81	72	65						
	3	0.59	177	142	118	101	89	78	71						
	3.5	0.62	186	150	124	106	93	82	74	67					
RFX80-02 (黄色)	4	0.68	204	163	136	117	102	90	82	74	68				
	5	0.75	225	180	150	129	112	100	90	81	75	69			
	1.75	0.6	180	144	120	103	90	80	72	65					
	2	0.65	195	156	130	111	98	86	78	71	65				
	2.5	0.72	216	173	144	123	108	96	86	78	72	66			
RFX110-03 (青色)	3	0.79	237	190	158	135	119	105	95	86	79	73	67		
	3.5	0.85	255	204	170	146	127	113	102	92	85	78	72	68	
	4	0.91	273	218	182	156	137	121	109	99	91	84	78	72	
	5	1.01	303	242	202	173	151	134	121	110	101	93	86	80	
	1.75	0.9	270	216	180	154	135	120	108	98	90	83	77	72	
RFX110-04 (赤色)	2	0.97	291	233	194	166	146	129	116	106	97	89	83	77	
	2.5	1.08	324	259	216	185	162	144	130	118	108	99	92	86	
	3	1.18	354	283	236	202	177	157	142	128	118	109	101	94	
	3.5	1.28	384	307	256	219	192	170	154	139	128	118	109	102	
	4	1.37	411	329	274	235	206	182	164	149	137	126	117	109	
RFX110-05 (茶色)	5	1.53	459	367	306	262	229	204	184	167	153	141	131	122	
	1.75	1.19	357	286	238	204	178	158	143	130	119	110	102	95	
	2	1.29	387	310	258	221	194	172	155	140	129	119	110	103	
	2.5	1.44	432	346	288	247	216	192	173	157	144	133	123	115	
	3	1.58	474	379	316	271	237	210	190	172	158	146	135	126	
RFX110-06 (灰色)	3.5	1.7	510	408	340	291	255	226	204	185	170	157	145	136	
	4	1.82	546	437	364	312	273	242	218	198	182	168	156	145	
	5	2.03	609	487	406	348	304	270	244	221	203	187	174	162	
	1.75	1.5	450	360	300	257	225	200	180	163	150	138	128	120	
	2	1.61	483	386	322	276	242	214	193	175	161	148	138	128	
RFX110-08 (白色)	2.5	1.8	540	432	360	308	270	240	216	196	180	166	154	144	
	3	1.97	591	473	394	338	296	262	236	215	197	182	169	157	
	3.5	2.12	636	509	424	363	318	282	254	231	212	195	181	169	
	4	2.28	684	547	456	391	342	304	274	248	228	210	195	182	
	5	2.54	762	610	508	435	381	338	305	277	254	234	218	203	
RFX110-08 (白色)	1.75	1.8	540	432	360	309	270	240	216	196	180	166	154	144	
	2	1.93	579	463	386	331	290	257	232	210	193	178	165	154	
	2.5	2.16	648	518	432	370	324	288	259	235	216	199	185	173	
	3	2.37	711	569	474	406	356	316	284	258	237	219	203	189	
	3.5	2.55	765	612	510	437	382	340	306	278	255	235	218	204	
RFX110-08 (白色)	4	2.74	822	658	548	470	411	365	329	299	274	253	235	219	
	5	3.05	915	732	610	523	457	406	366	332	305	281	261	244	
	1.75	2.41	723	578	482	413	361	321	289	263	241	222	206	193	
	2	2.58	774	619	516	442	387	344	310	281	258	238	221	206	
	2.5	2.88	864	691	576	494	432	384	346	314	288	266	247	230	
RFX110-08 (白色)	3	3.16	948	758	632	542	474	421	379	344	316	291	271	253	
	3.5	3.41	1023	818	682	585	511	454	409	372	341	314	292	273	
	4	3.65	1095	876	730	626	548	486	438	398	365	337	313	292	
	5	4.08	1224	979	816	699	612	544	490	445	408	376	350	326	



標準装着
ノズル
(赤色)

※圧力1bar(バール)は、およそ1.02kg/cm²に換算されます。

※上表のノズルは下段に行くほど、ノズル1個当りの吐出量が増えます。

※RFX110-04(赤色)以外のノズルは、すべてオプションです。

ご購入の際は、お買い上げの販売店(JA(農協))または弊社にご注文ください。

作業方法

◆選択例 1

《1ヘクタールあたり300ℓの薬液を
散布したい場合》

表より次のような選択ができます。

①ノズルRF X110-04(赤色)

散布圧力 2bar 310ℓ
車速 5km/h

②ノズルRFX110-04(赤色)

散布圧力 5bar 304ℓ
車速 8km/h

③ノズルRFX110-03(青色)

散布圧力 3.5bar 307ℓ
車速 5km/h

④ノズルRFX110-05(茶色)

散布圧力 1.75bar 300ℓ
車速 6km/h

◆選択例 2

《1ヘクタール当り要求散布量(ℓ/ha)
と車速(km/h)が決まっている場合》

d : ノズル1個当りの散布量 ℓ/min

Q : 1ヘクタール当りの散布量 ℓ/ha

S : トラクタ車速 km/h

とすると、 $d = (Q \times S) \div 1200$ で
与えられる。

但し、ノズル間隔 50cm
散布幅 10m

[計算例]

$Q = 300\ell/\text{ha}$

$S = 6\text{km/h}$ の場合

$d = (300 \times 6) \div 1200$

$= 1.5 \ell/\text{min}$ となる。

次に表よりノズル吐出量が1.5ℓ/minに
近いものを選択する。

①RFX110-04(赤色)の場合

およそ2.7barの散布圧力にすればよい。

②RFX110-05(茶色)の場合

1.75barの散布圧力にすればよい。

◆比重の異なる薬液の散布

薬液の散布量は、その比重により変化する
ため比重が1.0以上の薬液を散布する
ときは圧力を上げる必要があります。
(24ページの表は、比重1.0の場合を示
します。)

[例]

比重1.0の薬液を3barで散布するのと同
じ散布量を比重1.2の薬液で得るた
めには、散布圧力を3.6barまで上げて
ください。(下表参照)

《薬液の比重と圧力調整》

比重	圧力(bar)									
1.00	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1.10	1.1	2.1	3.2	4.3	5.4	6.5	7.5	8.6	9.7	10.8
1.20	1.2	2.4	3.6	4.8	6	7.2	8.4	9.6	10.8	12
1.30	1.3	2.6	3.9	5.2	6.6	7.9	9.2	10.5	11.8	13.2
1.40	1.4	2.8	4.2	5.6	7.1	8.5	9.9	11.3	12.7	14.2
1.50	1.5	3	4.5	6	7.6	9.1	10.6	12.1	13.7	15.2

3. 試運転の方法

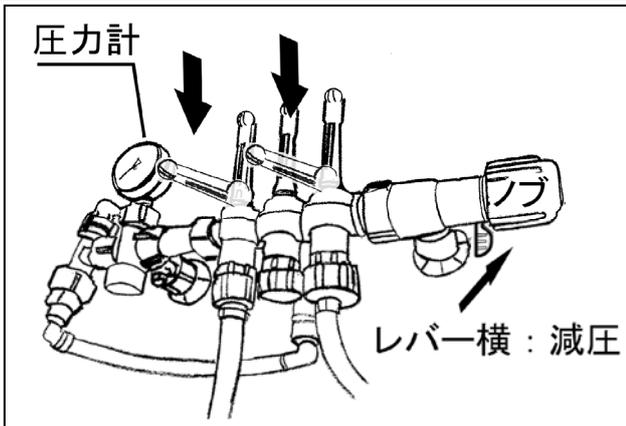
⚠ 注意

- ①試運転は、この取扱説明書を充分に
お読みいただき、ご理解いただいた
後に行ってください。
- ②安全のため試運転は真水で行って
ください。

◆手順

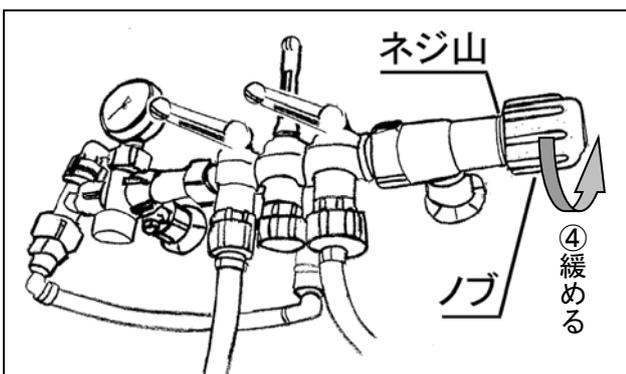
- ①約50ℓの真水をタンクに入れてくださ
い。
- ②圧力調整器のレバーを減圧方向に回し
てください。
(ブーム用分配器のレバーは横に倒し、
停止状態にしておく。20ページ参照)

作業方法

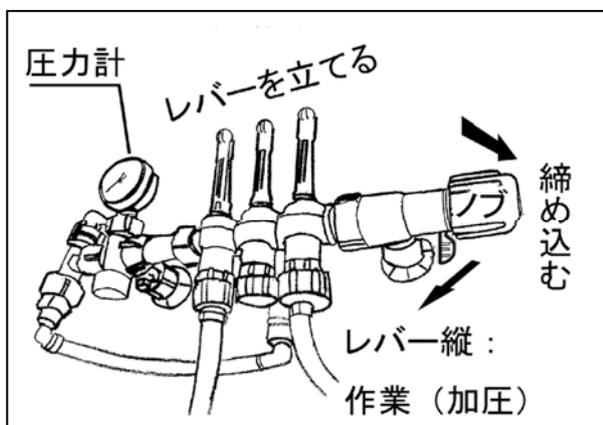


③トラクタのPTOを入れ、低速で回してください。

④黄色のノブを左に回し、ボディ上のネジ山が4本見えるまでゆるめてください。



⑤ブームへの分配器のレバーを上方向に立て、バルブを開いて散布状態にしてください。



⑥圧力調整器のレバーを作業位置に戻すとブームより散布が始まります。

⑦トラクタPTOを徐々に、540rpmまで上げてください。

⑧圧力計を見ながらノブに締め込んで、前ページで選択した散布圧力にセットしてください。

⑨圧力は、15bar以上に上げないでください。

⑩圧力を遮断する場合は、圧力調整器のレバーを減圧位置に回してください。

⑪散布を中止する場合は、分配器のレバーを下へ倒し、バルブを閉じてください。

4. 水及び薬液の投入と攪拌

⚠ 警告

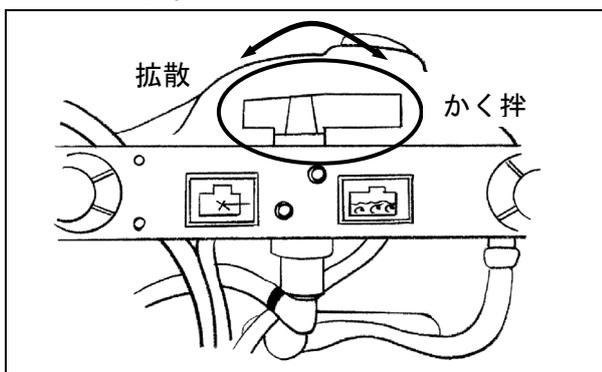
- 薬液の取扱いは、必ずその薬液の説明書に従い、特に安全には充分配慮して作業を行ってください。
- 作業するときは、防護マスク・手袋・防護服等を必ず着用してください。
- 作業後は、手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

これらを守らないと身体に重大な傷害を引き起こすおそれがあります。

- 圧力調整等の準備が終われば、水と薬液をタンクに投入してください。
- タンクに1/3～1/2程度水が入れば、薬液を投入してください。これにより残りの水の給水時に薬液の攪拌を充分行うことができます。

作業方法

- 本機タンク内の薬液を攪拌する場合は、次の図のようにバルブレバーを回してください。
- 薬液投入後、散布作業を行う前にPTOを回転させることにより、タンク内の攪拌が行われ、薬液をむらなく均一にしておくことができます。
- 攪拌作業はPTOを1分程度回すことにより行います。
- ノブの長い方を図のようにするとタンク内は攪拌され、反対方向にすると、拡散されます。



5. 作業終了後の洗浄と処置

注意

作業終了後、タンク内に残った薬液を河川や下水・排水路等に流すことは絶対にしないでください。必ず、畑の中で使い切るようにしてください。

- 散布作業終了後は、29ページの「散布作業後の洗浄」に従い、内部をきれいにしてください。機械の寿命を延ばすため、また残液による薬害を防止するために必要ですので、必ず実行してください。
- ①薬液の洗浄
 - ②サクシオンストレナーの洗浄
 - ③タンク内の洗浄水の排出

注意

洗浄水には薬液が含まれていますので安全のためゴム手袋を着用してから作業を行ってください。

- 内部のバネのへたりを防ぐため、圧力調整器の黄色いノブはゆるめておいてください。

簡単な手入れと処置

警告

- ①各部の調整をするときは、PTOを切り、エンジンを停止して、回転部が完全に止まってから行ってください。
- ②取り外したカバー類は必ず取り付けてください。

1. ポンプのオイル交換及び点検

ポンプのオイルは、50時間使用後1回目の交換を行い、2回目以降は500時間使用后、もしくは年1回シーズン終了後に交換してください。

ポンプの汚れたオイルは、ポンプ底板のドレンプラグを外して抜いてください。

新しいオイルは前述の注油口より注油してください。

《オイルの種類とオイル量》

ポンプ型式 : PM150

オイル : SAE 20W-40相当品
(例えば、シェル ヒリック
ス ウルトラ5W-40、
リムラ10W-40等)

油量 : 0.6ℓ

注意

作業前には、必ずポンプのオイル量を確認してください。

2. 散布作業後の洗浄

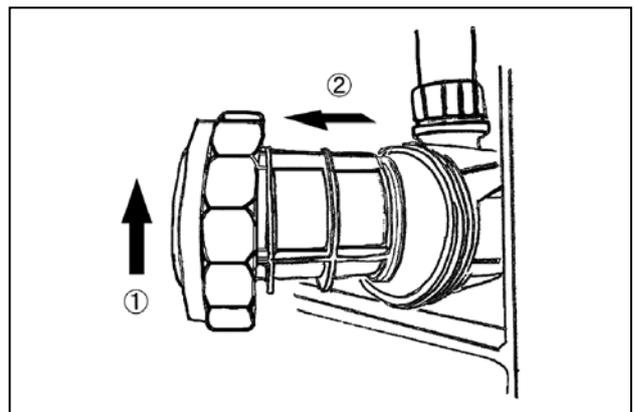
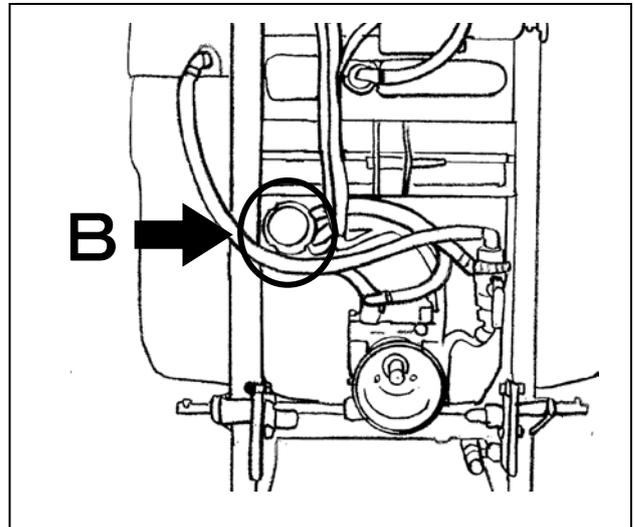
◆薬液の洗浄

毎日の作業終了後は、洗浄のため水道水をタンクに入れ、PTOを回し、ノズルより散布させて薬液を洗い流してください。

この作業は、圧力調整器の黄色のノブをゆるめ、散布圧力を極力落として行ってください。

◆サクシオンフィルタの洗浄

次の図B部内部のフィルタを洗浄してゴミを洗い流してください。(フィルタの洗浄は、その日の作業終了後毎日行ってください。)



サクシオンフィルタは上図のようにネジを回す要領でキャップを取り外してください。

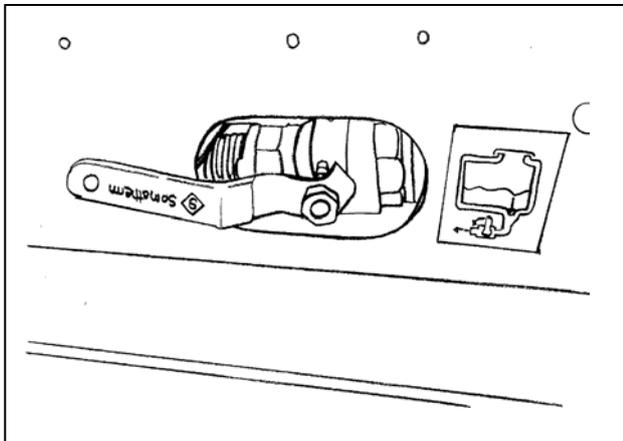
注意

サクシオンフィルタには薬液が付着しておりますので、洗浄時はゴム手袋などを必ず着用し、安全には充分注意して作業してください。

簡単な手入れと処置

◆タンク内部の水の排出

タンク内部に残った薬液を排出するときは、本体側面足元のドレンプラグ用レバーを横にすることによって弁が開き、排出する事ができます。



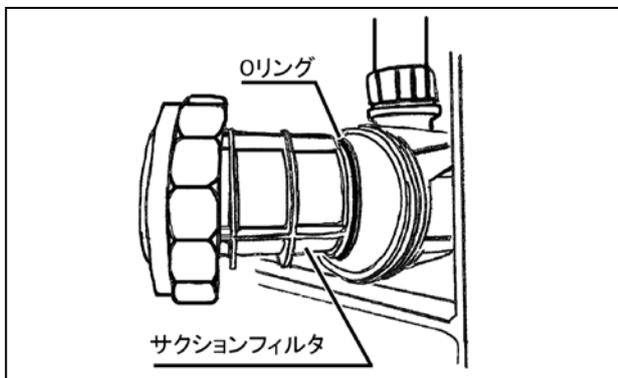
⚠ 注意

洗浄水には薬液が含まれています。ドレンプラグを外すときは、安全のためゴム手袋を必ず着用し、安全には十分注意して作業してください。

3. 各部への給油・グリスアップ

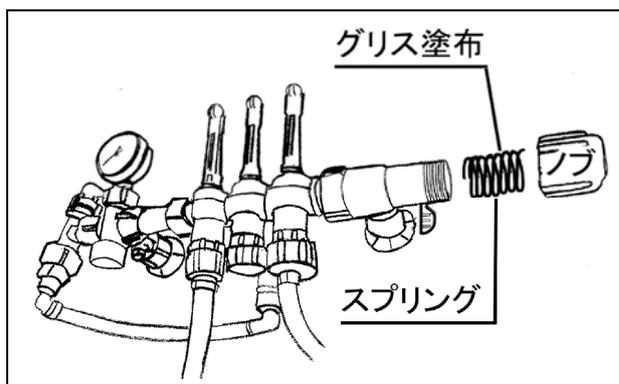
◆サクションフィルタ

劣化防止と機密性保持のため、前ページのB部内にあるサクションフィルタのOリングにグリスを塗布してください。
(50時間毎)



◆圧力調整器

圧力調整器の黄色のノブを外し、中のスプリングにグリスを塗ってください。
(200時間毎)



◆ユニバーサルジョイント

必要に応じて作動部に指定時間(h)毎にグリスアップしてください。

4. 冬期の凍結防止方法

冬期の保管中、ポンプ、ホース、ノズル等を凍結から守るため、凍結防止剤をタンクに入れてください。

使用する凍結防止剤は、自動車用の不凍液をご使用ください。(シーズン中でも凍結が予想されるときは、同様の処置を行ってください。)

◆防止方法

- ①薬液タンクに水道水を入れ、ノズルから散布することにより、薬液を洗い流してください。
- ②次に、50ℓの水道水と20ℓの不凍液を薬液タンクに入れてください。
(最低気温 およそ-15℃の場合)
- ③PTOを入れ、数分間アジテータで攪拌してください。
- ④攪拌が終了したら、3方バルブを供給位置(レバーを横にする)にして、ノズルより散布してください。

簡単な手入れと処置

⑤着色された不凍液がノズルより吐出され始めたら、散布を停止してください。

⑥冬期間は、この状態で屋内に保管してください。(不凍液の入った水は抜かないでください。)

次に不凍液の濃度と最低気温の関係を示しますので、参考にしてください。

詳しくは、使用する不凍液の取扱説明書をご覧ください。

不凍液の濃度	最低気温
15%	- 5℃
20%	- 9℃
25%	-12℃
30%	-15℃
35%	-20℃
50%	-38℃

5. 長期格納時の手入れ

- 水洗いして付着した泥や埃等を落としてください。特に腐食性のある薬液を散布した後は、念入りに洗浄してください。
- 洗浄時は、揮発性・油性の溶剤は絶対に使用しないでください。
- 乾燥後は各回転・摺動部に充分注油し、錆びないようにしてください。
- 塗装の剥がれた部分には、補修塗料等を塗って、錆がでないようにしてください。
- 各部のボルト・ナットがゆるんでいないかを確認し、ゆるんでいるときは締めてください。
- 格納する場所は、雨や埃のかからない平坦な屋内に保管してください。
- 保管時は、圧力調整器の黄色のノブをゆるめておいてください。(スプリングのへたりを防止します。)

不調診断

不調内容	診断	処置	参照ページ
●圧力が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプ吸入側フィルタのゴミ詰まり ●圧力調整器の弁のゴミ詰まり ●ポンプダイヤフラムの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルタを外し掃除する ●分解して掃除する ●交換する (販売店または弊社へ連絡) 	29 — —
●圧力計の針が大きく変動する	<ul style="list-style-type: none"> ●エアーチャンバーに規定の空気が入っていない ●空気を吸っている 	<ul style="list-style-type: none"> ●エアーチャンバーに空気を入れる ●ホースの継ぎ目等を調べる 	21 —
●圧力調整が困難 (圧力が変わらない)	●圧力調整器の弁、および弁座が固着している	●分解して掃除する	—
●ノズルから薬液が出ない、不均一である	●ノズル目詰まり	●掃除もしくは、交換する	—

オプション部品の取扱い

◆自動給水器（サクシオンホース）

この装置により、水面からタンク上部までの高さが5m以内であれば、水槽・池や川などからタンクに水をくみ上げることができます。吸水口には、大面積の細かい網目がついており、ゴミの侵入を防ぎます。

また、内部のフートバルブにより、薬液が水槽や川に逆流するのを防止します。ホースのカプラーにより脱着時は特別な工具は不要です。

《操作方法》

- ①バケツ2～3杯（約40ℓ）の水を呼び水としてタンクに入れる。
- ②本製品のインジェクター部（水の吐出部）をタンク上蓋の小穴に差し込んでください。このとき蓋の中のストレーナは絶対に外さないでください。
- ③圧力計の隣 a にあるエルボ（ポンプAから a に薬液を供給する）を取り外し、自動給水器の b 部にエルボを取り付ける。

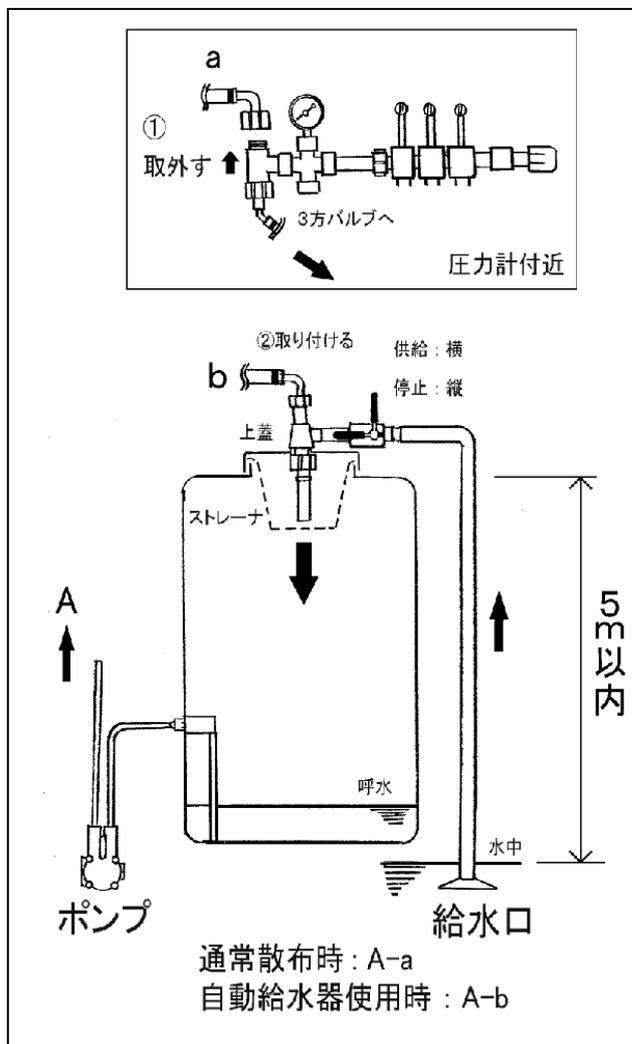
⚠ 警告

カプラーを外すときは、圧力計で圧力がゼロになっていることを確認してから行ってください。

圧力が残っていると薬液が飛散し、身体にかかるおそれがあります。

- ④吸水口を水中に投入してください。
- ⑤トラクタPTOを入れ、540rpmで回してください。
- ⑥自動給水器のレバー位置を供給側に倒してください。タンクへの吸水が始まります。

- ⑦タンクに1/3～1/2の水が入りましたら、薬液を入れ再度吸水し、満タンにしてください。より完全に薬液を混合することができます。



⚠ 警告

- 薬液の取扱いは、必ず薬液の説明書に従い、特に安全には充分配慮して作業を行ってください。
 - 作業するときは、防護マスク・ゴム手袋・防護服などを必ず着用してください。
 - 作業後は、手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- これらを守らないと身体に重大な傷害を引き起こすおそれがあります。

付 表

1. 主要諸元

品名	スプレーヤ	
型式	PREMIS600	PREMIS800
装着方法	3点リンク直装式 カテゴリⅡ (Ⅰにも対応)	
駆動方法	PTO駆動(回転数 540rpm)	
適応トラクタ	50ps～	70ps～
機体寸法	全長 (mm)	1150
	全幅 (mm)	2490
	全高 (mm)	1420
質量 (kg)	231	246
散布幅 (m)	10	10
ノズルピッチ (cm)	50	50
タンク容量 (ℓ)	600	800
ポンプ最大吐出量 (ℓ/min)	60	60
ポンプ最大吐出圧 (MPa)	1.5	1.5

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2. 主なノズルの型式と部品コード

※本機には、RFX110-04が標準装備されております。

※下表の下段に行くほど、吐出量が増えます。

※各ノズルの性能は、24～25ページを参照してください。

部品名称	色	噴霧角度	部品コード	備考
RFX80-015	緑色	80°	11506 5075 000	
RFX80-02	黄色	80°	11506 5075 100	
RFX110-03	青色	110°	11506 5165 200	
RFX110-04	赤色	110°	11506 5165 301	標準装備品
RFX110-05	茶色	110°	11506 5075 400	
RFX110-06	灰色	110°	11506 5165 500	
RFX110-08	白色	110°	11506 5165 601	

3. 主な消耗部品

部品名称	部品コード	備考
標準ノズル	11506 5165 301	
ダイヤフラム	11506 1170 000	ポンプ用
ダイヤフラム	11506 4680 939	エアーチャンバー用